



→西門北の紅葉が今年是一段と鮮やかです。

一陽に植えし人あり夕紅葉

ゆうもみじ

三十七年前、山の斜面を切り開き、土を盛り、地盤固めをした高台に移転した常磐東小学校。校舎建築現場の写真は、現在工事中の阿知波地区工業団地のように、緑に囲まれた中に開かれた茶色の一帯であった。

開校に合わせて樹木が植えられたがまだ小さい。当時の児童数は百名を超え、卒業記念樹等を校庭に残している。そんな学校づくりの気運が高かった平成二年三月、運動場南斜面に植栽文字「トキワヒガシ」がお茶の木で作られた。この茶の木は根付かなかったものの、平成五年三月、キンメツゲで植え替えられる。当時の写真には、大きな石が出土した斜面に運動場の隅から土を運び入れる子供の姿が写っており、苦勞がしのばれる。

その後、平成十九年から二十二年に緑化活動が一層盛んになり、全日本学校関係緑化コンクール文部科学大臣賞（日本一）に輝いた。この頃にはキンメツゲの植栽文字が学校の看板として定着していたことだろう。植樹以来三十年、近年は柴中造園さんのお力



【低学年 800M マラソン大会の試走】

添えをいただき、維持に努めてきた。しかし、老木化、病気等により、この度の植え替えに至る。

植栽文字植え替え事業は、常磐東学区社会教育委員長の青山勇様が令和五年より中心となって計画を練りはじめ、各方面のご協力を取り付けてくださった。

〈令和六年十一月 植栽までの主な作業〉

・九日 社教委員会、学区の有志、金原造園さんで、植栽文字のキンメツゲを取り払う。

・十二日 山口土木さんのご厚意で、土入れと地盤固めをしていただく。

・二十一日 社教委員会の有志で、植樹の位置を決める。

・二十三日 社教委員会、学区民、保護者、教職員、児童、中学生の有志、金原造園さんの約四十名で、ボックスウッド(西洋ツゲ)乾燥に強い樹木を植える穴を約五百か所あける。

・二十八日 社教委員会、学区、保護者、中学生、高校生の有志、児童、教職員、総勢百十名以上が植樹に携わる。

今回の植樹で、親子二世代、祖父母を加えた三世代にわたり関わった家がある。親御さんの感慨はひとしおだろう。家族総出でご参加くださった家、何度も足を運んでくださった方もいる。地域の尊い志に感謝して学校づくりの一端を担うことで、子供たちは三十年後の学校、故郷、自分の未来を想像することができた。

明日は、走行距離を新たに設定したマラソン大会。時代に合わせて形は変わるが、心身を鍛えるという本質は変わらない。新しい植栽文字の前を頬を赤らめて駆け抜ける子供たちに、声援をお願いしたい。



【11月28日 授業を終えて植栽に集まった中学生・高校生の有志 約20名】

<30年ぶりの植栽文字「トキワヒガン」の植え替え作業>

11/9 キンメツゲの撤去



11/12 土入れ・地盤固め



11/21 植樹の位置決め



11/23 植樹の穴あけ



11/28 ボックスウッド(セイヨウツゲ)の植樹



ご協力くださり、ありがとうございました